

様 式 F-7-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成29年度）

		機関番号	9 2 1 0 3
所属研究機関名称		日本工営株式会社中央研究所	
研究 代表者	部局	総合技術開発第2部	
	職	研究員	
	氏名	林 亮太	

1. 研究種目名

若手研究(B)

2. 課題番号

16K21005

3. 研究課題名

過去の生物多様性復元に向けて：本草学資料に残された生物記録の分類学的再検討

4. 補助事業期間

平成28年度～平成30年度

5. 研究実績の概要

平成29年度は、①鹿児島県屋久島におけるアカウミガメに付着する生物の採集調査と②東京都小笠原母島におけるアオウミガメに付着する生物の採集調査を行い、それぞれにおいて進展があった。

①では、高木春山による「本草図説」中に残された『赤亀』の図に描かれているフジツボ類、カメフジツボの付着パターンを実際に観察・計測し、個体間距離などの基本的な記録を蓄積することができた。

②では、高木春山による「本草図説」中に残された『赤亀』の図に描かれているフジツボ類、カメフジツボは採集できず、期待したデータを得ることができなかった。

今年度は本科研費初年度から継続している屋久島での調査で得られた付着生物の中に新種の甲殻類を発見し、北海道大学の研究グループとの共同研究としてウラシマタナイスと命名し新種記載した。

今後はさらに未調査の古典籍資料の収集と野外調査による標本採集を進め、年度内の論文投稿を目指す。

6. キーワード

本草学 生物多様性 動物分類学 海洋生態

7. 現在までの進捗状況

区分

(3) やや遅れている。

理由

論文投稿はできたが査読コメントへの対応が遅れているため。

1 版

8. 今後の研究の推進方策

速やかに原稿の改訂を進め、査読付き学術論文としての公表を目指す。

9. 次年度使用が生じた理由と使用計画

オープンアクセス学術誌への論文掲載料として予算を残していたが、年度内に論文の受理まで至らなかったため。2018年度内の掲載を目標としている。

10. 研究発表（平成29年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 TANABE YUKI、HAYASHI RYOTA、TOMIOKA SHINRI、KAKUI KEIICHI	4. 巻 4353
2. 論文標題 Hexapleomera urashima sp. nov. (Crustacea: Tanaidacea), a tanaidid epibiotic on loggerhead sea turtles at Yakushima Island, Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Zootaxa	6. 最初と最後の頁 146～160
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） http://dx.doi.org/10.11646/zootaxa.4353.1.9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 —

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 1件／うち国際学会 0件）

1. 発表者名 林 亮太
2. 発表標題 本草学資料に残された生物記録と過去の生物多様性の歴史
3. 学会等名 生き物文化誌学会（国立民族学博物館）（招待講演）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

—

1 4. 備考

—